

チャレンジ
Challenge!
脳トレーニング



「漢書」律曆志によれば、巳年の「巳」とは「止（や）む」の意味があり、草木の成長がマックスになることだそうです。ヘビは脱皮することから、復活や再生を表します。

問題

ヘビにちなんだクイズを解いてみましょう

Q1.

恐ろしいものごとを目の前にして身動きできないことを指す「ヘビににらまれた〜」。〜に入ることはどれですか？

- A ネズミ B うさぎ C カエル

Q2.

ヘビが杖に巻き付いたマークがついている車はどれでしょう？

- A 救急車 B パトカー C 消防車

Q3.

ヘビの抜け殻を大切にしておくとうなると言われていますか？

- A 目が良くなる B お金がたまる C 長生きする



日:30`~:20`~:10:~5景

すこやか

2025.1
vol. 85
free paper

KEIYUKAI NEWSLETTER

ご自由にお持ちください



診療科目

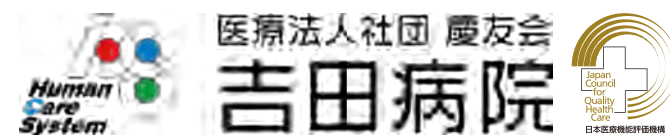
- ・一般内科
- ・消化器内科
- ・呼吸器内科
- ・循環器内科
- ・腎臓内科
- ・内分泌内科
- ・緩和ケア内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・泌尿器科
- ・放射線科
- ・リハビリテーション科
- ・歯科・歯科口腔外科

併設センター

- ・呼吸器センター
- ・臨床研究センター
- ・緩和ケアセンター
- ・肝臓病センター
- ・内視鏡センター
- ・人工腎臓センター
- ・予防医療センター
- ・糖尿病・生活習慣病センター
- ・化学療法・治療センター
- ・在宅医療福祉センター

グループ施設

- ・老人保健施設 さくら館
- ・特別養護老人ホーム 養生の杜カムイ
- ・デイサービスセンター ほたる
- ・グループホーム K 館
- ・グループホーム アテナ
- ・特別養護老人ホーム 仁慈苑
- ・デイサービスセンター 透空



■診療受付時間

- 【平日】 午前 8:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
 【土曜日】 土曜 8:00 ~ 12:30
 【休診日】 日曜日、祝日、年末年始

〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2

0166-25-1115

<https://www.keiyukai-group.com/yoshi-hp/>





医療法人社団慶友会
社会福祉法人慶友会
理事長

吉田 良子

謹賀新年

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2025年、私たちは引き続き「内科に強い病院」を目指し、急性期医療の充実、在宅医療のさらなる拡大、そして地域医療におけるシームレスな医療サービスの提供に力を注いでまいります。昨年度より導入した気管支鏡検査や遺伝子検査を基盤とした個別化医療は、がん診断と治療の質を高める重要な役割を果たし、患者さま一人ひとりに最適な医療をお届けする体制を整えています。

また、本年も地域住民の皆さまが慶友会グループの扉を開けた瞬間から「ここに来てよかった」と心から感じていただける、信頼と安心の医療空間を実現することを目標に掲げ、医療サービスはもちろんのこと、温かな心遣いと、患者さまの気持ちに寄り添ったケアを追求してまいります。

2024年における「継承」と「革新」の取り組みも本年に繋げていきます。「継承」として、これまで培ってきた内科医療の強化に加え、225床の目標達成を維持しつつ、さらに働きやすい職場環境の整備を進めてまいります。「革新」としては、文部科学省から認定を受けた文部科学省科学研究費助成

事業指定研究機関「K-LAB」を軸に、医療DXを推進し、次世代の医療に向けた挑戦を続けてまいります。

最後に、2025年は巳年にあたります。巳は「進化」を象徴する年と言われます。私たち慶友会グループもこの一年、進化を続け、地域の皆さまにとってなくてはならない存在であり続けるよう努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事
吉田 琢哉

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

医療業界では、少子高齢化が進む中で地域医療のニーズが多様化し、またデジタル技術の進展による変化が急速に進んでおります。これらの課題と向き合いながら、私たちは新たな時代の要請に応えるべく変革を恐れず取り組む覚悟です。

その一方で、どのような時代でも揺るがない「基軸」を持つことが重要だと考えます。慶友会は「医療の質の向上」と「経営の健全化」を両輪とし、地域社会に安心と信頼を提供することを目指してまいりました。この姿勢は

これからも変わることなく、すべての活動の中心に据えていきます。

特に「心ある医療」を大切にし、患者様一人ひとりに寄り添う姿勢を忘れることなく、医療職が互いに協力しながら質の高いケアを提供することに努めてまいります。また、経営の健全化については、新しい挑戦を通じて未来の医療を創造し、地域の発展に寄与することを目指します。

今年も多くの挑戦が待ち受けていることでしょう。しかし、それらを「好機」と捉え、慶友会一丸となって邁進する所存です。時代の変化に柔軟に対応しつつ、私たちの基軸を基に、保健・医療・福祉の先導者としての使命を果たしてまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



臨床研究センター所長
吉田 遼平

新年のご挨拶

皆さま、明けましておめでとうございます。本年が希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、「がん診療の強化」と「研究の推進」という二つの重要な課題に取り組んでまいりました。今年はこれらをさらに深化させ、飛躍の年とすべく努めてまいります。

がん診療では、患者の負担を軽減するシームレスな医療提供の実現を目指し、新たに気管支鏡検査を導入しました。本年度は、呼吸器センターとして診断件数を増やし、年間50症例を目標に掲げ、

日本呼吸器内視鏡学会の認定施設取得を目指してまいります。

研究においては、肺がんやコロナ感染症に関する研究を継続するとともに、今年度は予防医療に関するビッグデータ解析にも着手する予定です。また、2026年度の科研費取得を目指し、論文や学会発表などの実績を一つずつ積み重ねていきます。

研究者には不断の努力が求められますが、時には偶然が予期せぬ幸運（セレンディピティ）をもたらすこともあります。そうした幸運を引き寄せるためにも、日々の準備と挑戦を重ねることが大切だと考えています。先代がよく口にしていた「片方の目で足元を見つつ、もう片方の目で未来を見据える」という言葉を胸に、現状をしっかりと固めながら未来を見据え、偶然がもたらす幸運を逃さない一年にしていきたいと思っております。

本年も、皆さまと力を合わせて、慶友会から最良の医療を提供できるよう全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



最高顧問
大崎 能伸

新年に向けて

北海道をはじめとする地方の一次産業が飛躍的に発展し、これに伴い地方経済の活性化が期待されています。農業、漁業、畜産業といった基幹産業が進化し、地域資源を最大限に活用したビジネスが増加しています。また、リモートワークの普及やインターネットを活用した資産運用の増加により、都市に住む必要がなくなり、地方に移住する人々が増えています。こうした環境の変化は、地方の医療が今後ますます重要な役割を果たすことを意味しています。

地方の医療における大きな課題は、過疎化による医療スタッフの不足と、医療インフラの整備不足です。しかし、地方に住む人々のライフスタイルが変わり、都市から地方への移住が進むことで、新たな患者層が生まれ、医療需要が増加する可能

性が高まります。また、リモートワークの普及によって、働き方が柔軟になり、地方で生活しながら都会の仕事の続けることができるようになります。地方の医療施設への需要も増えることが予想されます。

地方における医療の役割は、単に疾病の治療にとどまらず、予防医療や健康管理、さらには地域全体の健康寿命を延ばすための取り組みへと広がっていくでしょう。地方の医療機関は、地域住民と密接に連携し、地域ごとの健康課題に対応する力を強化することが求められます。また、デジタル化が進む中で、遠隔診療やAIを活用した健康管理のシステム導入が進むことで、都市部と変わらないレベルの医療サービスが提供される可能性も高くなります。特に高齢化が進む地方においては、オンライン診療やデジタルツールを活用した健康管理が、医療現場の負担軽減にも寄与するでしょう。

地方における医療の発展は、地域社会全体の生活の質を向上させる重要な要素です。都市の生活に魅力を感じなくなり、地方での生活を選ぶ人々が増える中で地方の医療の充実が地域の魅力を高め、移住者を引きつける要素となります。今後、地方の医療が進化することによって、地域の魅力がさらに向上し、地方経済の発展にもつながることが期待されます。



病院長
馬場 勝義

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍も落ち着きを見せ、医療を取り巻く環境は新たな局面を迎えています。本年は当院の真価が問われる重要な年と認識しており、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に特に注力いたします。

医療技術の急速な進歩に対応するため、電子カルテシステムの高度化やAIを活用した診断支援など、新しい技術を積極的に取り入れていけたらと考えております。これにより、診療の効率化と正確性の向上を図り、患者さまにより質の高い医療サービスを提供することを目指します。先進的な医療機器の導入と、それらを最大限に活用できる専門スタッフの

育成にも重点を置いています。さらに、データ分析を通じて、より精密で個別化された医療の実現に取り組んでまいります。

同時に、技術革新の中にあっても決して忘れてはならないのは、人間的な温かさです。機械化に埋没することなく、患者さま一人一人の不安や痛みに寄り添い、心のこもった医療を提供することを大切にします。医療は単なる技術の集合体ではなく、人間性と共感に基づくものであると信じております。

本年は巳年。蛇は脱皮を繰り返し、常に新たな姿に生まれ変わる生き物です。私たちも医療の分野で絶えず進化し、地域医療の発展に貢献していきます。蛇のようにしなやかに、知恵と柔軟性を持ち、新たな課題に果敢に挑戦してまいります。

新しい年が、皆様にとってすこやかで希望に満ちた一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



通院が困難な方・住み慣れた家で過ごしたい方へ

Keiクリニックのご紹介

私たちは訪問診療・訪問看護を通じて、ご自宅で安心して療養できる環境をサポートしています。患者さま一人ひとりの心に寄り添い、身体だけでなく心のケアにも力を入れています。さらに、昨年秋からは24時間の電話相談も開始し、安心してご相談いただけるよう体制を整えています。当クリニックの強みは、対応の速さとスタッフ間の抜群の連携です。急な体調変化にも迅速に対応し、緊急往診やお看取りもしています。常勤医師1名と非常勤医師3名、看護師4名が常に情報を共有し合い、今後も患者さまに最適な医療とケアを提供していきたいと考えております。

訪問看護ステーションお(オー)

当ステーションは2024年6月1日に開設しました。
訪問エリアは旭川市内全域、比布、愛別、東川、東神楽、鷹栖になります。

< 訪問看護サービス内容 >

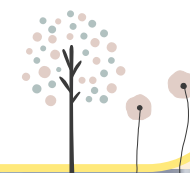
01	02	03
体調管理、 日常生活ケア、 リハビリのお 手伝い	生活支援、 医療的処置と 管理	お看取り、 緩和ケア、 終末期ケア、 24時間緊急体制

訪問看護ステーションお(オー)について、
質問やご相談は下記へご連絡ください。
**ACCESS：旭川市4条西4丁目2-1
さくら館4F**
TEL：74-7188 FAX：23-0681



Keiクリニック外来

毎週火曜日午前9：00～12：30(第5週目は休診)完全予約制です。
できる検査に限りはありますが完全予約制なので、待ち時間が少なく済みます。画像検査が必要な場合は他院の紹介も可能です。



Keiクリニック外来・Keiクリニック訪問診療にご興味のある方は、お気軽にご相談ください!

ACCESS：旭川市4条西4丁目2-16
TEL：25-0115 FAX：23-0681

※訪問看護ステーションお(オー)とは問い合わせ先が異なりますのでご注意ください。



Keiクリニック訪問診療

月に1～2回、決まった日時に訪問します。お看取り、往診については、随時ご相談可能です。
ご自宅、施設入居どちらも訪問可能です。緊急時は24時間相談可能です。
訪問エリアは旭川市内になります(Keiクリニックから半径16Km以内)

